

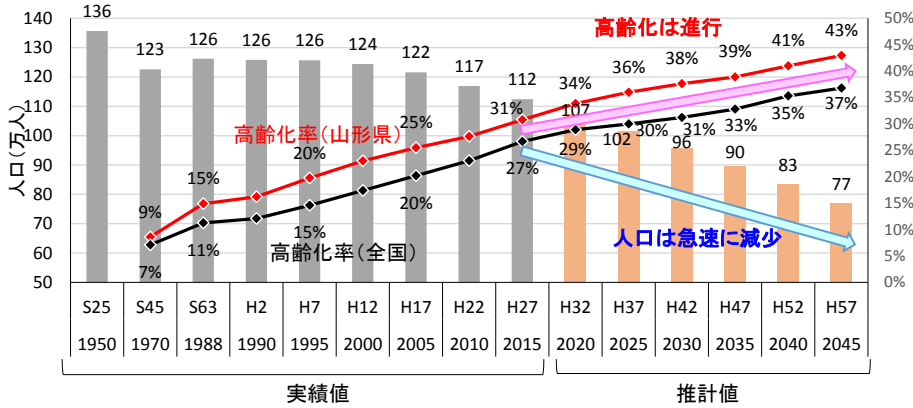


## 山形県のみちづくりを取巻く現状・社会的な背景

### ① 少子高齢化を伴う人口減少が加速

- 山形県の人口は今後も加速度的に減少
- 「超高齢社会※」のなか、高齢化はさらに進行

※ WHO(世界保健機構)の定義で、65歳以上の高齢化率21%以上の状態をいう。  
 なお、「高齢化社会」は7%以上、「高齢社会」は14%以上。



【出典】2015年まで総務省「国勢調査」  
 2020年以降 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

### ② 産業の動向

- 《製造業》
- 新規工場立地が概ね堅調に推移
- 製造品出荷額はリーマンショック・震災による減少から回復傾向

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H20~H29 合計
山形県	30	12	16	17	9	22	23	16	24	21	190
村山	17	7	5	5	8	8	6	4	5	10	75
最上	1	1	0	0	0	3	0	2	2	1	10
置賜	5	1	4	5	1	5	7	4	5	3	40
庄内	7	3	7	7	0	6	10	6	12	7	65

▲ 工場立地件数の推移 (H20~H29) 【出典】工業立地動向調査(経済産業省)

### 《観光産業》

- 県内観光客数、外国人旅行者数が震災前の水準を超えて増加傾向  
 (外国人旅行者数は震災前の2倍以上に増加)
- 本県の自然や文化、食などの地域資源の高付加価値化や戦略的な誘客等の取組を推進
- 近年の新たな動き  
 (県内) 酒田港外航クルーズ船寄港、県内空港の国際チャーター便の増便  
 (東北) 東北新幹線の全線開業、仙台空港民営化(国際線LCCの増便)



▲ 県内観光客数、外国人旅行者数の推移 【出典】山形県観光客数調査、外国人旅行者受入実績調査

### 《物流》

- 県内の輸送機関別輸送量は9割以上が自動車による輸送
- 酒田港の定期コンテナ航路の取扱量が増加

### ③ 地球温暖化等地球規模の気象変動・環境変化

- 局所的な被害をもたらす集中豪雨の多発化、災害発生が増加
- 本県の76%が特別豪雪地帯に指定 (指定割合: 東北1位)

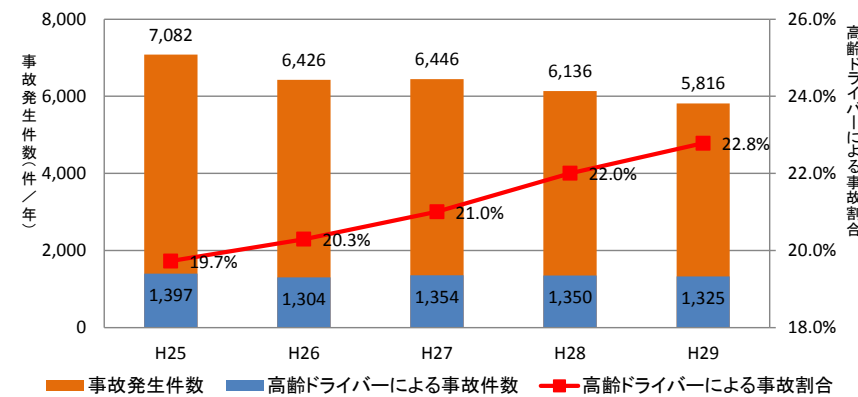


▲ 時間雨量30mm以上※を観測した県内の年間の気象庁観測地点数と最大時間雨量  
 【出典】山形地方気象台の観測データを基にした山形県まとめ

▲ 年最深積雪 メッシュ平均年地図 (統計期間: 1981年~2010年)  
 【出典】国土数値情報年値メッシュデータ

### ④ 道路交通の状況

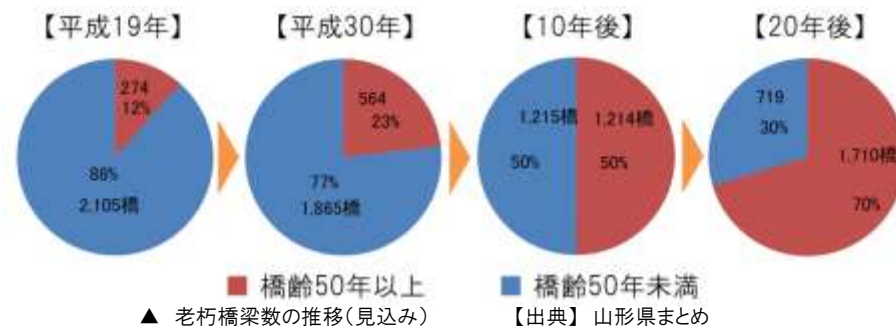
- 通勤・通学における高い自家用車依存 (自家用車通勤・通学割合は全国1位)
- 幹線道路の交差点や市街地を中心に渋滞が発生
- 交通事故の発生状況
  - ・県内の事故発生件数は近年減少傾向
  - ・一方で、高齢ドライバーによる事故発生の割合が増加 (高齢ドライバーの自動車運転免許証の返納数も増加)
  - ・全国で登下校中の児童・生徒を巻き込む交通事故が後を絶たない。



▲ 県内の交通事故発生件数と高齢ドライバーによる交通事故発生割合 【出典】山形県警察署

### ⑤ 道路施設の老朽化が進行

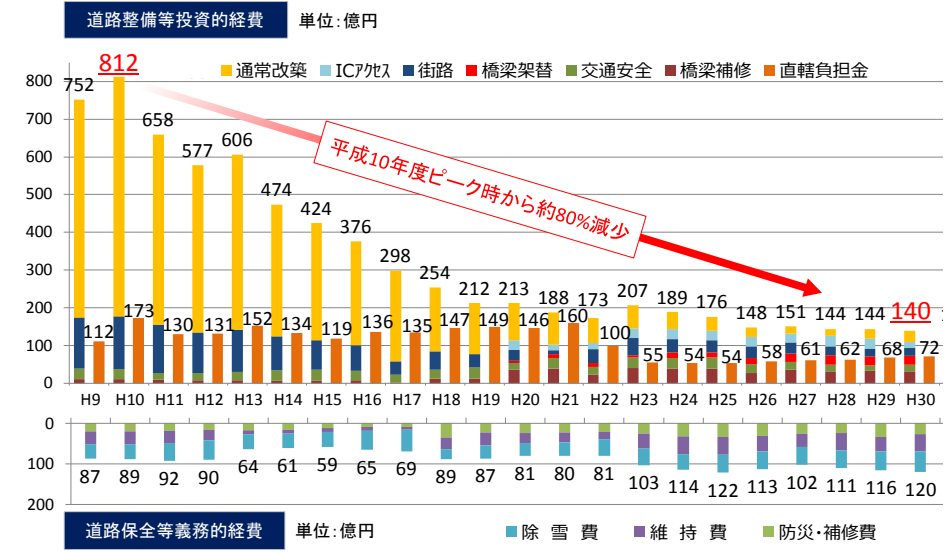
- 高度経済成長期に整備された橋梁・トンネル等の道路施設の老朽化が進行



▲ 老朽橋梁数の推移(見込み) 【出典】山形県まとめ

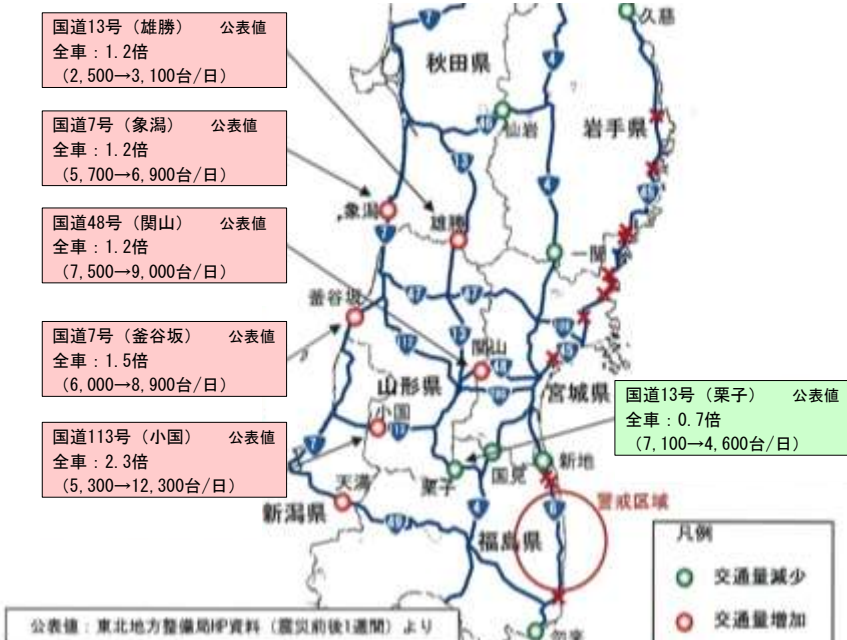
### ⑥ 社会保障関係費の増によるインフラ投資の圧縮

- 山形県の道路関係予算は平成10年度をピークに約8割の減少
- 事業費の減少に伴う事業の長期化



### 山形県のみちづくりに関係する新たな動き

- 東日本大震災・熊本地震・豪雨災害等を契機とした国土強靱化、防災減災対策の強化
  - ・非常時も機能する道路網の形成 (リダンダンシーの確保)
  - ・緊急輸送道路等における地震、津波、風水害、雪害対策
  - ・災害発生時の情報収集・提供のあり方
  - ・「道の駅」の防災機能向上への期待



▲ 東日本大震災前後1週間の幹線道路の交通量の変化 【出典】東北地方整備局ホームページ

- 重要物流道路を契機とした新たな広域道路交通計画の策定
  - ・平常時・災害時を問わない「物流・人流」の確保・活性化
- 自転車利活用の推進
- 無電柱化の推進
- 「道の駅」の活用による観光振興・地域振興
- ICT(情報通信技術)、自動運転システムの技術開発・社会実装

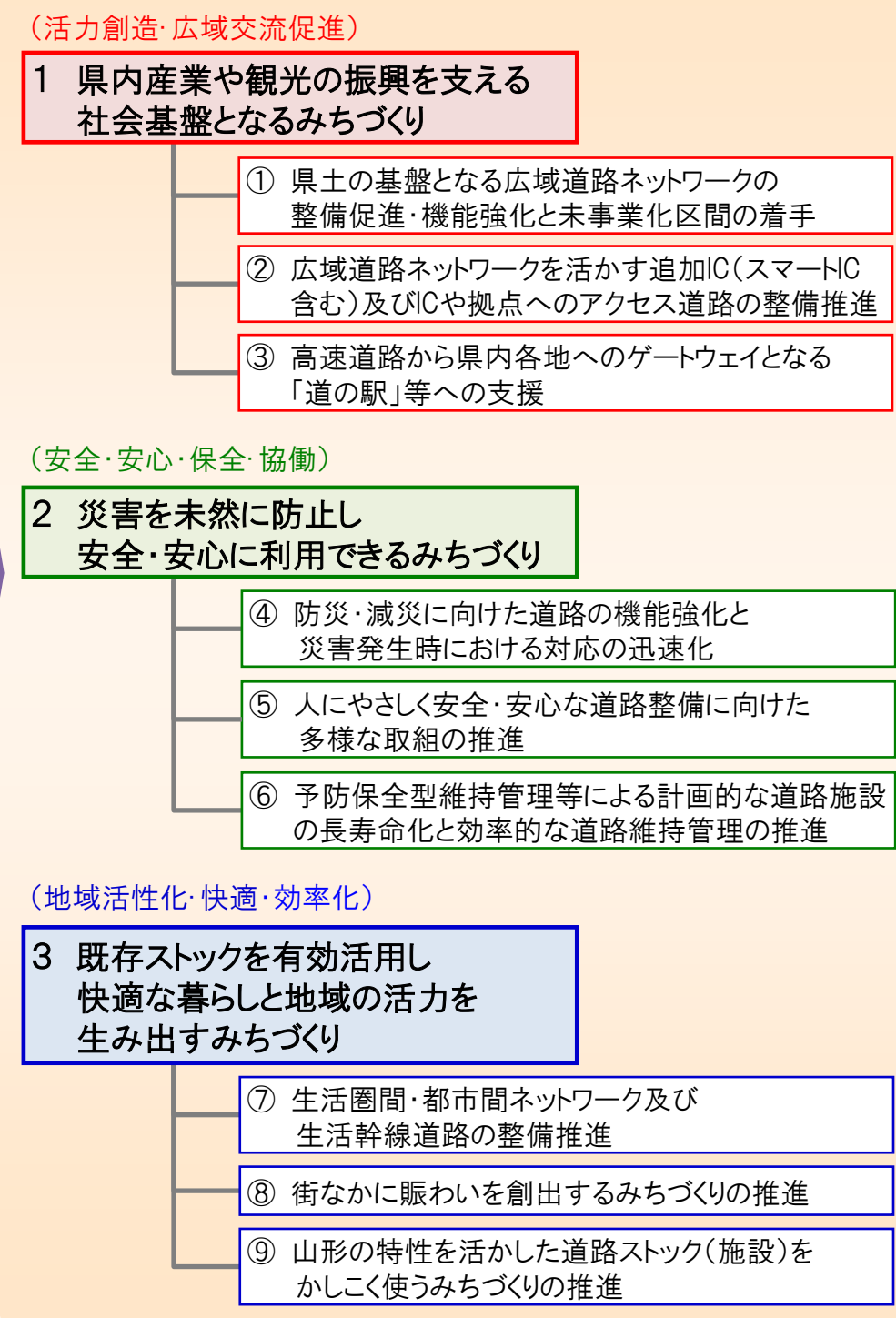
## 過去10年間のみちづくりの主な取組と今後の課題

○ 主な取組 ■ 今後の課題

## ヒト・モノの交流を促進し 山形の未来を拓くみちづくり

みちの将来像

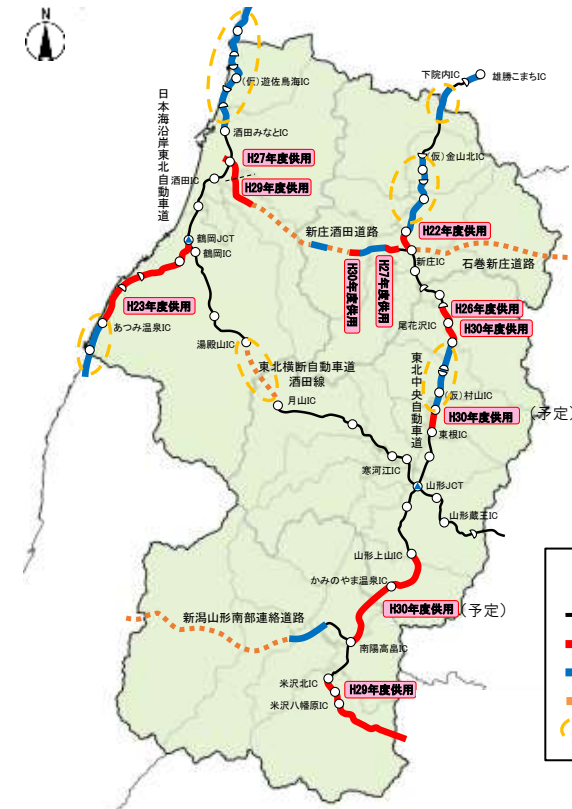
みちづくりの3つの柱と9つの施策



評価・検証

### ① 高速道路・地域高規格道路の整備状況

- 高速道路・地域高規格道路の整備が大きく前進【概ね目標達成】
  - ・ 東北中央自動車道 供用率 H21:38% ⇒ H30末:78%(見込み)
  - ・ 日本海沿岸東北自動車道 供用率 H21:0% ⇒ H30末:49%
  - 山形自動車道の重用区間(鶴岡JCT～酒田みなとIC)を考慮すると  
供用率 H21:34% ⇒ H30末:67%
  - ・ 新庄酒田道路 供用率 H21:8% ⇒ H30末:43%
  - ・ 新潟山形南部連絡道路 供用率 14%(増減なし 梨郷道路事業推進)
  - ・ IC30分圏域の人口率 H21:70% ⇒ H30末:88%(見込み)
- 供用率は未だ全国平均を大きく下回り、多くのミッシングリンクが残ることから、物流の円滑化、産業振興・観光振興による交流人口の拡大、災害時のリダンダンシー機能の確保のため、引き続き整備を促進し、ミッシングリンクの早期解消を図る必要がある。



※東北中央自動車道・日本海沿岸東北自動車道ともに過去10年間で全線事業化

▲ 広域道路ネットワークの整備状況(平成30年度末見込み)

高速道路整備の進捗状況	全国		東北ブロック		山形県	
	延長(km)	比率(%)	延長(km)	比率(%)	延長(km)	比率(%)
H31年3月末見込み						
予定路線延長	11,520	100	1,894	100	341	100
基本計画延長	10,623	92	1,793	95	287	84
整備計画延長	9,428	82	1,439	76	243	71
供用延長	10,077	87	1,752	93	259	76

▲【出典】全国高速道路建設協議会 HIGHWAY NETWORK Ver13

### ② ICアクセス道路の整備

- 高速道路等の開通に合わせ、追加ICやICへのアクセス道路を整備
  - ・ (主)米沢高畠線(米沢中央IC)、(主)寒河江村山線(東根北IC) など
- 高速道路等利用の利便性の向上のため、引き続き高速道路等の整備スケジュールに合わせてICへのアクセス道路の整備を促進する必要がある。

### ③ 道路施設の長寿命化

- 適切な修繕により長寿命化を図る「予防保全型」の維持管理に転換
  - ・ 管理する全2,429橋の診断を実施し、「山形県橋梁長寿命化修繕計画」を策定【目標達成】
  - ・ 計画に基づき、約1,200橋の長寿命化対策を実施
  - ・ 山形県道路橋梁メンテナンス統合データベースシステム(DBMY)を構築し、計画的・効率的な維持管理を実施
  - ・ 「合同診断会議」を開催し、市町村担当者の技術力向上、健全性診断の正確性向上、個人による診断のバラつきを抑制する取組を実施
  - ・ トンネル等の大規模構造物、舗装、その他道路施設についても状況把握し、計画的な維持管理を実施
- 老朽化が著しい施設は、施設更新に着手
- 引き続き効率的な維持管理を実施し、長期的なコストの低減、予算の平準化に努めるとともに、老朽化の診断・対策に必要な人材を確保する必要がある。



▲ 橋梁点検実施状況



▲ 床板の抜け落ち((主)大石田畑線 亀井田橋)

### ④ 人に優しい道路空間の整備

- 法指定通学路等の歩道整備
  - ・ 法指定通学路の歩道整備率が向上  
H21:63% ⇒ H30末:78%(見込み)【目標達成】  
(幅広路肩などの簡易な整備を含む)
- 無電柱化の取組
  - ・ 無電柱化整備延長 H21:46km ⇒ H30末:64km(見込み)
- 法指定通学路の歩道整備や交差点改良などの交通安全施設整備に加え、多様化するニーズに対応する必要がある。
  - ・ 超高齢社会の取組として歩道のバリアフリー対策
  - ・ 訪日外国人に対応した標識や案内版の多言語表示
  - ・ 自転車の利活用推進 など

### ⑤ 防災対策の強化

- 緊急輸送道路の防災対策【目標概ね達成】
  - ・ 要対策97箇所のうち概成93箇所(H30末見込み)
- 緊急輸送道路の老朽橋梁対策
  - ・ 架替着手 H30末までに10橋【目標達成】
  - ・ 亀井田橋(大石田町)、栗谷沢橋(真室川町)、堀内橋(舟形町)、新内橋(酒田市)、出羽大橋(酒田市)、庄内橋(庄内町) など
- 孤立の可能性の高い地域の防災対策【目標概ね達成】
  - ・ 要対策126箇所のうち概成83箇所(H30末見込み)
- 災害発生時等の道路規制状況を県ホームページでリアルタイムで公表(位置情報、規制区間、規制理由、迂回路等)
- 引き続き、緊急輸送道路の老朽橋の対策を進める必要がある。
- 多発する自然災害を受け、平成30年に実施した重要インフラ緊急点検により新たに抽出された要対策箇所の防災対策を進める必要がある。

## 県民の望むみちづくりのあり方

- 優先的に進めてほしい道路施策(県政アンケート) 県民・市町村のニーズ
  - 1位:地域間を結ぶ道路
  - 2位:市街地と周辺地域を結ぶ道路
  - 3位:市街地の道路
  - 4位:高速道路
- 前道路中期計画の各施策で重要と思うもの(市町村アンケート)
  - 1位:高速道路等の整備
  - 2位:インフラの長寿命化
  - 3位:通学路等の整備

「山形のみちづくり評議会」、「道路利用者」等からの各施策に対する意見 2

# 1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

# 活力創造・広域交流促進

## 施策① 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

### I 取組方針

- i) 物流の円滑化、産業振興、観光振興、交流人口拡大等のストック効果の発現、さらには大規模災害に備えたりダンダンシー機能の確保の観点から、高速道路網の事業区間の整備、計画区間の新規事業化及び更なる利便性向上に向けた検討を促進
- ii) 「重要物流道路(基幹道路)」の整備促進及び国際海上コンテナ車の通行に対応した構造不適合箇所・ぜい弱箇所の機能強化の促進
- iii) 高速道路網や幹線道路の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進

### II 主な取組内容 ★…2028年度末までに供用開始を見込む区間（県による推定）

#### i) 高速道路網の事業区間の供用及び計画区間の事業化を促進

##### ○ 高速自動車国道 <重要物流道路(基幹道路)> 《事業区間の整備促進・供用開始》

- ① 東北中央自動車道
  - 東根北IC～大石田村山IC L=約13.7km ★
  - 新庄北IC～秋田県境 L=約20.5km ★  
(供用開始された主寝坂道路は延長に含まない)
- ② 日本海沿岸東北自動車道
  - 新潟県境～あつみ温泉IC L=約6.7km ★
  - 酒田みなとIC～秋田県境 L=約20.0km ★

##### 《基本計画区間の事業化》

- ① 東北横断自動車道酒田線（山形自動車道）
  - 月山IC～湯殿山IC L=約21km

##### 《交通量・利用状況を踏まえた更なる利便性向上の検討》

- 暫定2車線区間の4車線化、追越レーン、JCTやハーブICの機能強化

##### ○ 地域高規格道路 <重要物流道路(基幹道路)>

##### 《事業区間の整備促進・供用開始》

- ① 新潟山形南部連絡道路
  - 梨郷道路 L=約7.2km ★
  - 小国道路 L=約10.6km ★ (全体L=12.7kmのうちの山形県内分)
- ② 新庄酒田道路
  - 新庄古口道路 L=約6.0km ★
  - 高屋道路 L=約3.4km ★

##### 《調査区間・計画区間の事業化》

- ① 新潟山形南部連絡道路
  - 小国道路終点～梨郷道路起点
- ② 新庄酒田道路
  - 戸沢村草薙～庄内町狩川間
  - 戸沢村古口～草薙間 (事業中の高屋道路を除く)
  - 庄内町狩川～廻館間

##### 《候補路線の新規事業化》

- ① 国道47号(石巻新庄道路) 新庄IC～宮城県境

##### ii) 直轄国道や重要物流道路(基幹道路)の整備促進、機能強化

- (国)112号(霞城改良、山形中山道路) など
- (国)47号、48号、112号等 (国際海上コンテナ車(40ft背高)の通行に対応した構造不適合箇所、ぜい弱箇所の機能強化)

##### iii) 高速道路網や幹線道路の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進

- 対面2車線での暫定供用区間における正面衝突事故防止のワイヤーロープ設置
- 誤侵入・逆走防止のための路面標示 など



▲2028年度末の高速道路・地域高規格道路の整備状況(県による推定)



▲日本海沿岸東北自動車道 酒田みなとIC付近

▲一般国道113号 梨郷道路

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
高速道路の供用延長(供用率) ※分母約341km	259 km (76%)	320 km (94%)
地域高規格道路の供用延長(供用率) ※分母約100km	29 km (29%)	56 km (56%)

## 施策② 広域道路ネットワークを活かす追加IC(スマートIC含む)及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進

### I 取組方針

- i) 県民及び来訪者の高速道路を利用しやすい環境整備を図るため、追加ICやスマートICの整備を促進
- ii) 産業・観光の振興のため、高速道路・地域高規格道路のICに接続するアクセス道路の整備を推進
- iii) 重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス路の整備推進

### II 主な取組内容

- i) 追加IC・スマートICの整備促進
  - 高速道路の供用開始に合わせた追加ICの整備促進  
東北中央自動車道 村山北IC、大石田村山IC
  - スマートICの設置に向けた市町村の取組を後押し  
山形PAスマートIC(仮称) 等
- ii) ICや拠点へのアクセス道路等の整備推進
  - (主)山形天童線(天童市成生～東根市羽入)
  - (主)寒河江村山線(村山市河島、東根市松沢)
  - (国)287号(米沢北BP、米沢川西BP、川西BP)
  - (国)458号(本合海BP) など
- iii) 重要物流道路(アクセス道路)の整備推進



▲東北中央自動車道 東根北IC付近

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
高速道路等のICへ30分でアクセスできる人口の割合	65%※2	97%
高速道路等のICへ10分でアクセスできる工業団地数	35箇所※2	65箇所
高速道路等のICへ30分でアクセスできる主要な観光地※1	59箇所※2	109箇所

※1 2017年度(平成29年度)山形県観光客数調査における年間観光客数10万人以上の観光地

※2 ミッシングリンク解消の効果を指標化するため、月山道路及び県境部分が繋がっていない庄内地方のICは現況値では対象としない。

## 施策③ 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

### I 取組方針

- i) 圏域の様々な観光、地域情報を発信し、各圏域内の隅々に他県からの来訪者を導くゲートウェイとなる「道の駅」等の整備促進に向けた市町村の取組を支援
- ii) 公共交通の交通結節点としての機能を持ち、多様なニーズに対応できる人が集い活気あふれる「道の駅」の機能強化を支援
- iii) 大規模災害発生時の地域の防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の住民等への周知

### II 主な取組内容

- i) 沿線の自治体による「道の駅」の新設や移転に関する取組を支援(技術的助言、県管理道路の右左折レーンの整備等)
  - ゲートウェイ型「道の駅」の構想検討エリア 最上地域、庄内北部地域、庄内南部地域
  - その他の「道の駅」の構想検討市町村 山形市、村山市、東根市 など
- ii) 「やまがた道の駅ビジョン」に示す山形らしい魅力ある「道の駅」の整備・活性化を支援
  - 「やまがた道の駅」緊急整備支援事業費補助金による支援(観光案内施設、トイレの改修等)
  - 「道の駅」連絡会の開催等による「道の駅」間の連携調整 など
- iii) 防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の住民等への周知

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
山形らしい魅力のある「やまがた道の駅」数	21 駅	30 駅
防災拠点機能を備えた「道の駅」数	4 駅	10 駅

## 施策④ 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

### I 取組方針

- i) 災害発生直後から避難・救助や物資供給等の応急活動のために緊急車両の通行を確保すべき「緊急輸送道路」や、重要物流道路とともに指定される「代替路」や「補完路」(以下、「緊急輸送道路等」という)について、道路ネットワークの強化のため、橋梁の耐震化等を優先的に実施
- ii) 道路の防災対策の推進
- iii) 豪雨災害等に強い道路ネットワークの整備推進
- iv) 災害発生時における迅速かつ正確な交通規制・迂回路等の情報提供、孤立解消に向けた迅速な応急復旧等の実施

### II 主な取組内容 (代表箇所)

- i) 緊急輸送道路等における橋梁の耐震化・老朽橋梁対策 等
  - 耐震化が必要な橋梁における補強・落橋防止装置の設置
  - (主)新庄次年子村山線 堀内橋 (舟形町) S31架設 ※架替
  - (一)余目松山線 庄内橋 (庄内町～酒田市) S33架設 ※架替

※ 老朽化が著しい場合や工法検討の結果架替の方が安価な場合などは橋梁の架替を実施
- ii) 道路の防災対策の推進
  - 平成30年度に実施した重要インフラ緊急点検※に基づく緊急輸送道路等の要対策箇所における防災対策の優先整備 (落石防護柵、法面保護、雪崩予防柵、防雪柵、流雪溝等)
    - (主)米沢南陽白鷹線 (南陽市漆山) 落石防護柵
    - (主)大江西川線 (西川町大井沢) 雪崩予防柵
    - (主)新庄戸沢線 (新庄市金沢) 流雪溝
    - (一)藤島羽黒線 (鶴岡市戸野) 防雪柵 など

※全国で相次ぐ大規模災害を受け、国民生活や社会経済活動を守るために機能を確保する必要のある重要インフラの緊急点検を実施したもの
- その他の道路における防災対策、冬期間の交通安全対策



▲防災対策(例)  
 左:(主)上山七ヶ宿線 (山市) 落石防護柵  
 右:(主)余目温海線 (鶴岡市) 法面保護工

▲冬期間の交通安全対策(例)  
 左:(国)344号 (真室川町) 雪崩予防柵  
 右:(一)大石田名木沢線 (大石田町) 流雪溝

- iii) 豪雨災害等に強い道路ネットワークの整備
  - (主)大江西川線 (大江町貫見) 道路改築
- iv) 災害発生時の情報提供、孤立解消等に向けた迅速な応急復旧
  - 県ホームページにおける通行規制情報、ライブカメラ映像の提供 など
  - 道路の寸断等の災害発生により集落の孤立や、広域的な迂回が発生した際には、早期の解消のため、緊急時における随意契約制度等を活用するなど、迅速な応急復旧工事(仮設道路の設置等含む)を実施

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
緊急輸送道路等における橋梁耐震化率※	96 %	100 %
重要インフラ緊急点検による要対策箇所の対策率 (橋梁耐震を除く348箇所)	—	100 %

※ 橋長15m以上の橋梁で、兵庫県南部地震と同程度の地震においても落橋等の甚大な被害が防止できるとみなせる「耐震性能3」を有する橋梁の割合

## 施策⑤ 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

### I 取組方針

- i) 「山形県通学路安全確保対策プログラム(平成25年3月策定)」等に掲げるPDCAサイクルのもとで、学校関係者、警察、地域、道路管理者が連携して通学路の点検等を行い、歩道設置等の交通安全対策を優先的に実施
- ii) 進行する高齢化を見据え、子どもだけではなく高齢者や障がい者にも優しい歩行空間を創出 (無電柱化による障害物除去、段差解消等)
- iii) 限られた予算内で広く効果を発現できるよう、多様な交通安全対策を実施 (側溝整備等による幅広路肩の整備、視認性確保のための路肩や交差点のカラーリング、植樹帯の除去による道路空間の再配分など)

### II 主な取組内容

- i) 歩道整備 (代表箇所)
  - (一)十日町山形線 (山形市飯田)
  - (主)上山蔵王公園線 (山形市蔵王温泉)
  - (主)寒河江村山線 (寒河江市中河原)
  - (一)樽石基点線 (村山市長善寺)
  - (主)舟形大蔵線 (舟形町舟形)
  - (一)大塚米沢線 (川西町荻) など
- ii) 交差点改良 (代表箇所)
  - (国)7号 (鶴岡市覚岸寺) ※直轄事業
  - (一)東根尾花沢線 (東根市神町南) など
- iii) その他の多様な交通安全対策
  - 交差点カラーリングによるドライバーからの歩行者の視認性向上
  - 側溝整備による幅広路肩、路肩カラーリングによる簡易な歩行空間確保
  - 植樹帯の撤去による道路空間の再配分
  - 歩道への車両侵入防止対策
  - ETC2.0プローブデータ等を活用した効果的な交通安全対策
  - 地震発生時の倒壊の恐れのあるブロック塀の安全確認 など



▲通学路の合同点検



▲歩道整備  
(一)長岡中山線 (天童市高揃)



▲路肩カラーリングによる歩行空間確保  
(一)万世窪田線 (米沢市川井)



▲幅広路肩による歩行空間の創出  
(国)287号 (川西町上小松)



▲交差点カラーリングによる歩行者の視認性向上  
(主)鶴岡羽黒線 (鶴岡市馬場町)

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
通学路点検による要対策箇所の対策率 (2018年4月現在 106箇所抽出)	20 %	100 %
事故危険区間※の対策率 (2018年4月現在 77箇所抽出)	25 %	100 %

※ 死傷事故率100件/億台キロ以上の区間、かつ死傷事故が8件/4年以上発生した区間 など

## 施策⑥ 予防保全型維持管理等による計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

### I 取組方針

- i) 高度成長期に集中的に整備した橋梁の老朽化が今後急速に進むことから、長期的な維持管理コスト縮減、予算の平準化を推進
- ii) トンネル等大型構造物について、健全性維持と第三者被害防止の観点から定期点検を実施し、効果的・効率的な維持管理を実施
- iii) 舗装、雪寒施設等の道路施設について、計画的な維持管理を実施
- iv) 道路構造を保全し円滑な交通を確保する、的確な維持管理、除雪を実施
- v) 限られた予算の中で維持管理水準を維持するため、道路監視、維持修繕業務委託との役割分担のもと、地域や企業、NPO等の力を活かした県民協働による効率的な維持管理を実施

### II 主な取組内容

- i) 橋梁長寿命化
  - 「山形県橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全的な補修など効率的な維持管理を推進
  - 山形県道路橋梁メンテナンス統合データベースシステム(DBMY)の活用
  - 技術力向上のための山形県道路橋合同診断会議の開催
  - 代表箇所 ④に記載する緊急輸送道路等の橋梁以外を記載
    - ・(主)山形山辺線 江俣跨線橋 (山形市) ※長寿命化対策
    - ・(主)山形山寺線 荒谷橋 (山形市) S3架設 ※架替
    - ・(一)曲川新庄線 居口橋 (鮭川村) S39架設 ※架替
    - ・(主)長井白鷹線 荒砥橋 (白鷹町) S32架設 ※架替 など
- ii) トンネル等大型構造物の長寿命化
  - 「山形県道路トンネル長寿命化基本方針」に基づく効率的な維持管理
    - ・(国)348号 白鷹トンネル(白鷹町) H元設置 照明・通信設備更新
  - 大型構造物の長寿命化
    - ・(国)347号 母袋2号スノーシェッド (尾花沢市) S61設置 断面補修
    - ・(一)面野山鶴岡線 白山横断歩道橋 (鶴岡市) S44設置 など
- iii) 舗装や雪寒施設等の道路施設の長寿命化
  - 「山形県道路舗装長寿命化修繕計画(H30年度改訂)」に基づき、路面性状調査により定量的に損傷状態を把握し、効果的な維持管理を推進
  - 防雪柵・雪崩予防柵等について、定期的なパトロールにより劣化状況を把握し、効果的な維持管理を推進
- iv) 道路維持管理・除雪の実施
  - 道路維持管理
    - ・道路パトロール、維持作業及び応急工事等の適切な実施
  - 道路除雪
    - ・市町村との路線交換の実施等による効率化・コスト縮減
- v) 県民協働による維持管理の推進
  - 協働除排雪など住民との協働による効率的な除雪体制の構築
  - ふれあいの道路愛護事業※による活動支援 ※現:マイロードサポート事業(～H30)
    - ・県が管理する道路の美化清掃、歩道除雪等を積極的にを行う自治会や企業等の団体に対し、活動費の助成や歩道除雪機の貸与等で支援

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
橋梁長寿命化修繕計画に基づく健全度が低い橋の対策率※	85 %	100 %
トンネル長寿命化基本方針に基づく健全度が低いトンネルの対策率※	98 %	100 %

※ 各年度の点検結果に基づく対策率として、診断後5年での対策率100%を毎年の目標に設定

## 施策⑦ 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

### I 取組方針

- i) 生活圏間・都市間の交流連携、生活関連サービスの確保、地域社会の維持等のため、一般国道や主要な県道において道路の改築・拡幅やバイパスの整備を推進（ボトルネック箇所、線形不良等の道路構造上の問題から走行性に課題のある箇所等）
- ii) 限られた予算の中で事業箇所の選択と集中を図りながら、地域の実情に応じた効率的な整備を推進（中山間地域等で交通量の少ない道路におけるすれ違い困難な箇所の部分的な拡幅や待避所の設置、対向車の確認が困難な屈曲部の視距改良など）

### II 主な取組内容（代表箇所）

- i) 道路改築・拡幅、バイパス整備
    - (国)458号（中山町金沢）
    - (国)287号（白鷹町大瀬～朝日町杉山）
    - (主)大江西川線（大江町貫見）
- 【再掲】
- (主)新庄戸沢線（新庄市升形）
  - (主)長井飯豊線（飯豊町手ノ子）
  - (主)鶴岡羽黒線（鶴岡市手向）
  - (国)344号（酒田市安田）
- など



▲整備事例 (主)天童寒河江線(蔵増バイパス)

- ii) 地域の実情に応じた改良（部分的な拡幅、線形改良、視距確保、待避所設置等）
    - (主)大石田畑線（大石田町大浦）
    - (主)真室川鮭川線（真室川町釜淵）
    - (主)玉川沼沢線（小国町百子沢）
- など



▲1.5車線整備の事業メニュー



▲地域の実情に応じた道路改良の事例 (主)山形永野線（山形市土坂）の部分的な拡幅

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
第二次・第三次救急医療機関へ新たに10分でアクセスが可能となる人口	—	7,000人
冬季の円滑な交通が確保された堆雪幅のある道路延長	703 km	755 km

## 施策⑧ 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

### I 取組方針

- i) 都市部における円滑な交通の確保と、豊かな公共空間・景観を備えた良好な市街地の形成を図る街路事業の整備、市町村が策定する立地適正化計画に基づき、「コンパクト+ネットワーク※」の取組を推進する事業を推進
- ii) 沿線住民やインバウンドを含む観光客に親しまれる良好な景観を創出するため、市街地における街路事業や、観光地における道路改築等を契機とした無電柱化を推進
- iii) バイパスの整備、市街地部の道路拡幅や交差点改良等の対策を実施した箇所については、最新データや地域の実際の交通状況を踏まえ主要渋滞箇所の見直しを実施

※人口減少、高齢化社会を見据え、今後も都市機能を維持していくため、郊外への都市的土地利用の拡大を防止すべく、医療、福祉、商業等の都市機能を集中させ、さらに、それらの施設を公共交通機関でネットワーク化し、高齢者でも安心して生活できる都市を目指した政策

### II 主な取組内容（代表箇所）

- i) 街路事業等（市街地における道路の拡幅、自歩道整備、無電柱化等）
  - (都)旅籠町八日町線（山形市本町、七日町）  
一方通行解除、4車拡幅、自歩道、無電柱化
  - (都)東原村木沢線（山形市木の実町）無電柱化、4車拡幅、自歩道
  - (都)北本町飛田線（新庄市新町）自歩道、無電柱化
  - (都)赤湯停車場線（南陽市二色根）自歩道、無電柱化
  - (都)桐町成田線（長井市本町）自歩道、無電柱化
  - (都)道形黄金線（鶴岡市馬場町）自歩道、無電柱化
  - (都)豊里十里塚線（酒田市上本町～山居町）  
4車拡幅、自歩道、無電柱化
- (国)112号 霞城改良（山形市城北町～七日町）  
4車拡幅、自歩道、無電柱化 ※直轄事業【再掲】



▲(都)赤湯停車場線 南陽市 市街地における賑わいの創出



▲(都)山形老野森線（天童市）歴史・文化・景観に配慮したみちづくり

- ii) 主要観光地等で特に景観に配慮し、無電柱化に取り組む事業箇所
  - (主)上山蔵王公園線（山形市蔵王温泉）  
歩道整備（再掲） など

(主)上山蔵王公園線（山形市蔵王温泉）



- iii) 渋滞解消対策の推進（街路事業、バイパス整備、交差点改良等）

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
都市機能誘導区域・中心市街地活性化区域内の都市計画道路の整備率※	62%	73%
無電柱化の整備延長	64 km	75 km
市街地エリアにおける主要渋滞箇所数	66箇所	51箇所

※都市機能誘導区域、中心市街地活性化区域は2019年4月現在

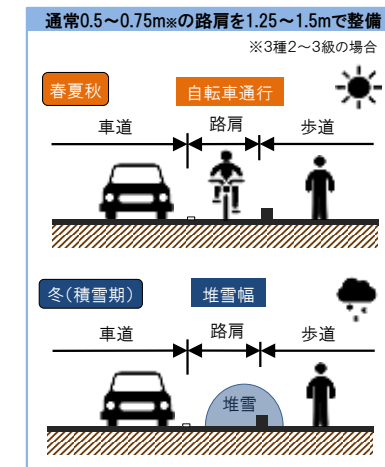
## 施策⑨ 山形の特徴を活かした道路ストック(施設)をかしく使うみちづくりの推進

### I 取組方針

- i) 平成29年5月の自転車活用推進法の施行を踏まえ、自転車の利用環境を整備するため、自転車通行帯として利用できる冬季の堆雪幅を確保した“山形らしい”みちづくりを推進
- ii) 県内周遊の利便性向上、非幹線道路への大型観光バス等の進入抑制のため、県外・国外からの来訪者にも分かりやすい道路標識の整備を推進
- iii) プローブ情報を用いた渋滞対策・交通安全対策の検討及び実施【再掲】

### II 主な取組内容

- i) 自転車の利用環境の整備
  - 道路の拡幅や歩道整備等に合わせ、積雪期以外は自転車の通行に利用できる堆雪幅を可能な限り確保
  - 既存の道路についても、ドライバーへの注意喚起のため通学路などで自転車の利用状況に応じて、路肩に矢羽根マーク等を標示
  - インバウンド等によるサイクルツーリズムのニーズを把握し、県内の観光地を周遊できるようなサイクリングルートの路肩のカラーリング等の整備検討



▲山形らしい道路整備の例（路肩の堆雪幅の有効活用）

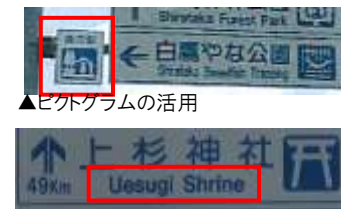


▲路肩内に「自転車専用」の文字や矢羽根型の路面表示 山形市小姓町の市道



▲路肩幅のカラーリング、ポラードの設置による自転車専用通行帯の分離(国道112号 山形市本町)

- ii) 分かりやすい道路標識の整備
  - 交差点名標識の整備
  - 既設標識の改善（ピクトグラム、高速道路ナンバリング、英語表記）
  - 非幹線道路への大型車の侵入抑制



▲ピクトグラムの活用



▲英語表記の改善(Uesugi Jinja Shrineに修正)

▲高速道路ナンバリングの対応

- iii) プローブ情報を用いた渋滞対策・交通安全対策
  - 急ブレーキ等の発生位置を把握し、効率的な対策の検討・実施

計画期間の指標	現況(見込み) (2018年度末)	目標 (2028年度末)
市町村の自転車ネットワーク計画に位置付けられた県管理道路における自転車利用環境整備率	—	計画策定後目標設定

# 地域のみちづくりビジョン《村山地域》

# やまがたの産業・観光をリードする「村山」のみちづくり ～ 道路ネットワークの充実と多重性確保 ～

## ■村山地域の概況

- ①気候・地形
  - ・蔵王、月山などの山々に囲まれ、地域のほぼ中央を最上川が縦断
  - ・半数の市町が特別豪雪地域に指定され、特に北村山と西村山の山間地域に集中
- ②生活・文化
  - ・東南村山、西村山、北村山の3地域からなり、県人口の約半数が居住
  - ・県都山形市があり、他地域からの通勤・通学も多く、県内他地域と比較し人口減少が緩やか
  - ・山形市が2019年に中核市に移行し、さらに周辺自治体との連携中枢都市圏の形成を目指している
  - ・山形自動車が整備され、80往復/日の高速バスの運行など、他県、特に仙台市との交流が盛ん
  - ・日本遺産に認定された「山寺が支えた紅花文化」の構成文化財が集積
- ③産業・資源
  - ・県内事業所や商業施設の多くが山形市に集積、地域の製造品出荷額は県全体の約半分を占める
  - ・数多くの温泉地や名勝地、サクランボ等の観光果樹園、そば街道など、県を代表する観光地が存在（特に蔵王温泉、銀山温泉、山寺などは国際的にも高い認知度）
  - ・高速交通施設の整備、ネットワーク化が県内一進んだ地域で、今後も産業振興、観光交流人口の拡大に期待
  - ・大型商業施設の郊外化により、中心部の空洞化が問題

## ■村山地域の今後10年間のみちづくりの方向性

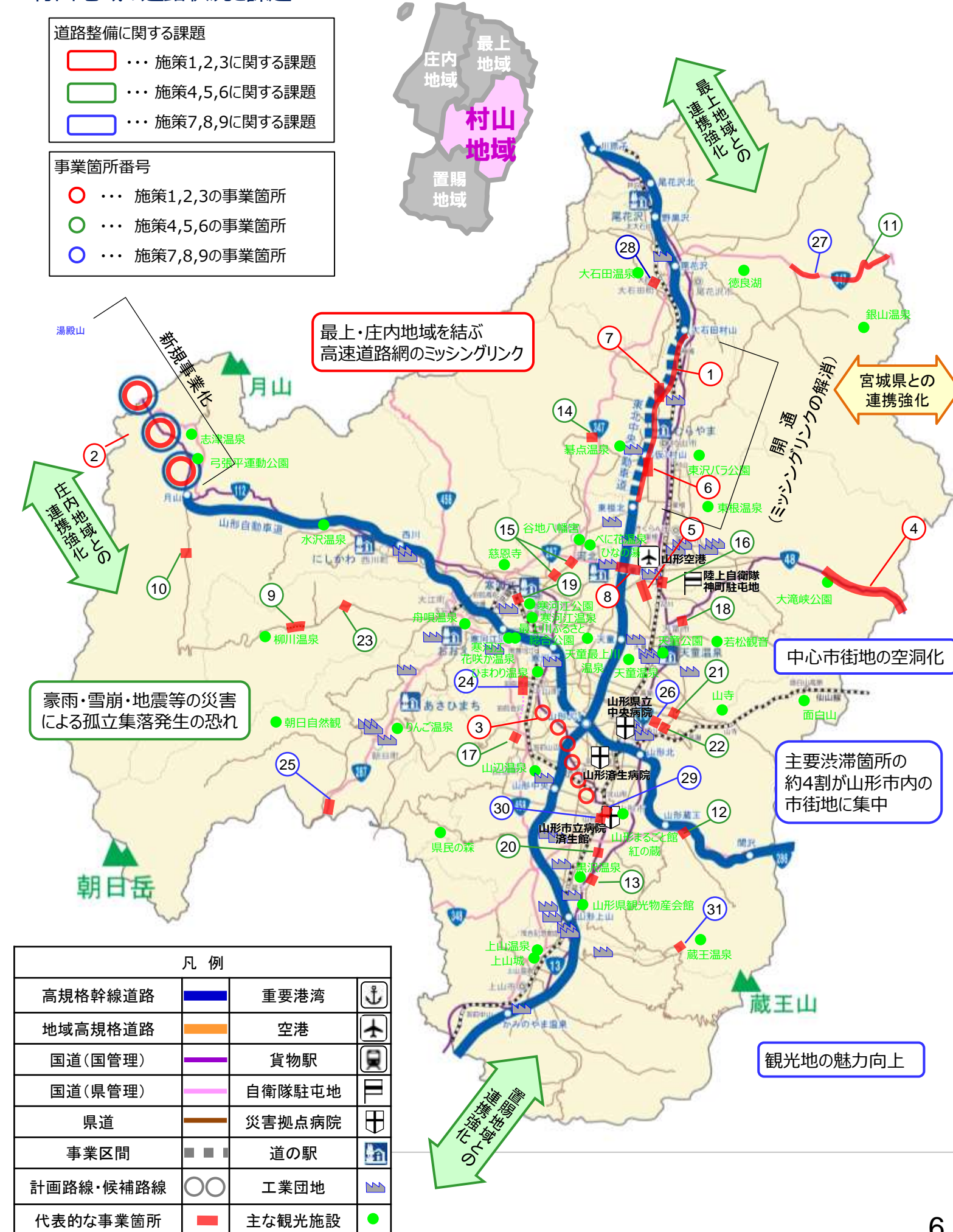
- 1 東北中央自動車道等の整備促進・ミッシングリンクの解消に合わせた他地域との連携強化 《施策1》
- 2 高速道路の整備効果（産業・観光振興）を最大限に発現するスマートIC及びICアクセス道路の整備推進 《施策2》
- 3 中心市街地の活性化・渋滞対策と生活圏間を安全に結ぶ道路ネットワークの向上 《施策7,8》
- 4 県内の他地域や、物流・観光拠点、幹線道路へのアクセス向上 《施策7》
- 5 住む人にやさしく、多様で効果的な交通安全対策の強化 《施策5》
- 6 宮城県との交流促進のためのアクセス向上、リダンダンシー機能の強化 《施策4,7》
- 7 自然災害による孤立の危険性の高い地域の防災機能強化 《施策4,7》
- 8 冬期間の交通安全の確保 《施策4》
- 9 観光地の景観形成（無電柱化等）とアクセス道路の強靱化、道の駅の整備・充実、自転車利活用推進 《施策3,6,8,9》

## ■9つの施策の代表的な事業箇所

凡例：◆継続箇所 ◇計画期間前半の事業着手 ◎計画期間前半の調査着手

<b>施策1</b>	◆① 東北中央自動車道（東根北IC～大石田村山IC） -② 東北横断自動車道酒田線（山形自動車道 月山IC～湯殿山IC） ※事業化を促進 -③ (国) 112号（山形中山道路） ※事業化を促進 -④ (国) 48号 ぜい弱区間の機能強化を促進 など
<b>施策2</b>	◆⑤ (主) 山形天童線（天童市成生～東根市羽入）改築（成生バイパス） <東北中央道 東根IC> ◆⑥ (主) 寒河江村山線（村山市河島）改築 <東北中央道（仮称）村山IC> ◆⑦ (一) 村山大石田線（村山市名取）改築 <東北中央道（仮称）村山北IC> ※<アクセス先> ◎⑧ (国) 287号（東根市羽入）改築 <東北中央道 東根IC> など
<b>施策4</b>	◆⑨ (主) 大江西川線（大江町貫見）改築 ◆⑩ (主) 大江西川線（西川町大井沢）雪崩柵 ◆⑪ (国) 347号（尾花沢市母袋）防雪柵 ◇⑫ (国) 286号（山形市防原町）棒原橋架替 など
<b>施策5</b>	◆⑬ (一) 十日町山形線（山形市飯田）歩道 ◆⑭ (一) 樽石碁点線（村山市長善寺）歩道 ◆⑮ (主) 寒河江村山線（寒河江市中河原～河北町要害）歩道 ◆⑯ (一) 東根尾花沢線（東根市神町南）歩道 ◇⑰ (主) 山形朝日線（山辺町山辺）歩道 ◎⑱ (一) 荒谷原崎線（天童市山口（原崎））交差点改良 ◎⑲ (主) 寒河江西川線（寒河江市洲崎（3））歩道 ◆⑳ (国) 112号（山形市元木一丁目）交差点改良（直轄事業） など
<b>施策6</b>	◆㉑ (主) 山形山寺線（山形市荒谷）荒谷橋架替 ◆㉒ (主) 山形山寺線（山形市十文字）高瀬川橋架替 ◇㉓ (主) 大江西川線（大江町月布）月布橋架替 など
<b>施策7</b>	◆㉔ (国) 458号（中山町金沢）改築 ◆㉕ (国) 287号（朝日町杉山（2））改築 ◎㉖ (一) 東山七浦線（山形市風間）改築 ◎㉗ (国) 347号（尾花沢市鶴巻田～母袋）改築 ◎㉘ (主) 大石田畑線（大石田町大石田）改築 など
<b>施策8</b>	◆㉙ (都) 旅籠町八日町線（山形市本町、七日町）街路 ◆㉚ (都) 東原村木沢線（山形市木の実町）街路 ◎㉛ (主) 上山蔵王公園線（山形市蔵王温泉（3））歩道・無電柱化 など

## ■村山地域の道路状況と課題





# 地域のみちづくりビジョン《最上地域》

広域的な交流・連携を見据え新たな活力を生み出す「最上」のみちづくり  
～ 高規格道路十字連携軸の整備促進 ～

## ■最上地域の概況

- ①気候・地形
  - ・全域が特別豪雪地帯に指定され、積雪が非常に多い。夏季は冷涼で、日照時間が短く、気温の日較差が大
  - ・山に囲まれた新庄盆地を中心に集落が点在している自然豊かな地域。各地に温泉が多数存在
- ②生活・文化
  - ・新庄市を中心に1市4町3村で構成。
  - ・管内町村から新庄市への就業・就学が多い。金山町では一部秋田県に、最上町では一部宮城県に就業あり
  - ・県内で人口減少・少子高齢化が顕著で、将来的な集落の存続が懸念
  - ・山形新幹線の起終点駅である「新庄駅」が立地。秋田県南地域からの玄関口
  - ・新庄市は国道13号、国道47号、JR奥羽本線、JR陸羽東・西線が交差する交通の要衝
  - ・高速道路網の整備が最も遅れている地域で、東西南北にミッシングリンクを有する
- ③産業・資源
  - ・産業別人口では、1位：製造業（19.5%）、2位：農業（14.1%）、3位：建設業（13.9%）と、第1次、第2次産業に高い依存度
  - ・豊かな森林資源を最大限に活かした木質バイオマスエネルギーの利活用が盛ん
  - ・代表的な観光資源には、温泉、最上川舟下り・巨木を代表とする自然景観が挙げられるが、全体として小規模かつ点在

## ■最上地域の今後10年間のみちづくりの方向性

- 1 東北中央自動車道の整備促進による村山地域や秋田県との連携強化 《施策1》
- 2 新庄酒田道路の整備促進、地域高規格道路ICへのアクセス強化と石巻新庄道路の新規事業化 《施策1,2》
- 3 中山間地域における孤立集落発生の未然防止（リダンダンシー機能の確保） 《施策4,7》
- 4 多様な手法による集落内及び集落間の人にやさしい道路整備 《施策5》
- 5 観光地へのアクセス強化 《施策7》
- 6 庄内など他地域や新庄市と他の町村を結ぶ幹線道路の機能強化 《施策7》
- 7 市町村のまちづくりと連携した病院などの生活拠点に接続する市街地道路の整備、アクセス強化 《施策7,8》
- 8 ゲートウェイ機能を持つ「道の駅」の整備 《施策3》

## ■9つの施策の代表的な事業箇所

凡例：◆継続箇所 ◇計画期間前半の事業着手 ◎計画期間前半の調査着手

施策1	◆① 東北中央自動車道（新庄北IC～秋田県境） -② 新庄酒田道路（新庄古口道路 高屋道路） ※左記のほか、未着手区間の新規事業化を促進 -③ 石巻新庄道路 ※新規事業化を促進 など
施策2	◆④ (国) 458号（大蔵村清水・本合海バイパス）改築 ◎⑤ (主) 戸沢大蔵線（戸沢村古口）改築 など ※アクセス先はいずれも（地高）新庄酒田道路
施策4	◆⑥ (主) 真室川鮭川線（真室川町川ノ内）栗谷沢橋架替 ◆⑦ (主) 新庄次子村山線（舟形町堀内）堀内橋架替 ◆⑧ (主) 雄勝金山線（金山町有屋）落石防護 ◆⑨ (主) 戸沢大蔵線（戸沢村古口）雪崩予防施設 ◆⑩ (主) 新庄戸沢線（新庄市金沢）流雪溝 など
施策5	◆⑪ (主) 舟形大蔵線（舟形町舟形）歩道 ◇⑫ (一) 曲川新庄線（新庄市金沢）歩道 ◎⑬ (国) 344号（真室川町大沢（田郎））歩道 ◎⑭ (一) 稲沢下野明線（金山町安沢）歩道 ◆⑮ (国) 47号（最上町若宮）歩道整備（直轄事業） など
施策6	◆⑯ (一) 曲川新庄線（鮭川村曲川）居口橋架替 など
施策7	◆⑰ (主) 新庄戸沢線（新庄市升形）改築（下馬踏切） ◆⑱ (主) 真室川鮭川線（鮭川村佐渡坂）改築 ◆⑲ (一) 砂子沢小又釜淵線（真室川町小又）改築 ◆⑳ (主) 真室川鮭川線（真室川町釜淵）視距改良 ◇㉑ (一) 東法田大堀線（最上町野頭）改築 ◎㉒ (一) 最上小野田線（最上町下満沢）改築 など
施策8	◆㉓ (都) 北本町飛田線（新庄市新町）街路 など

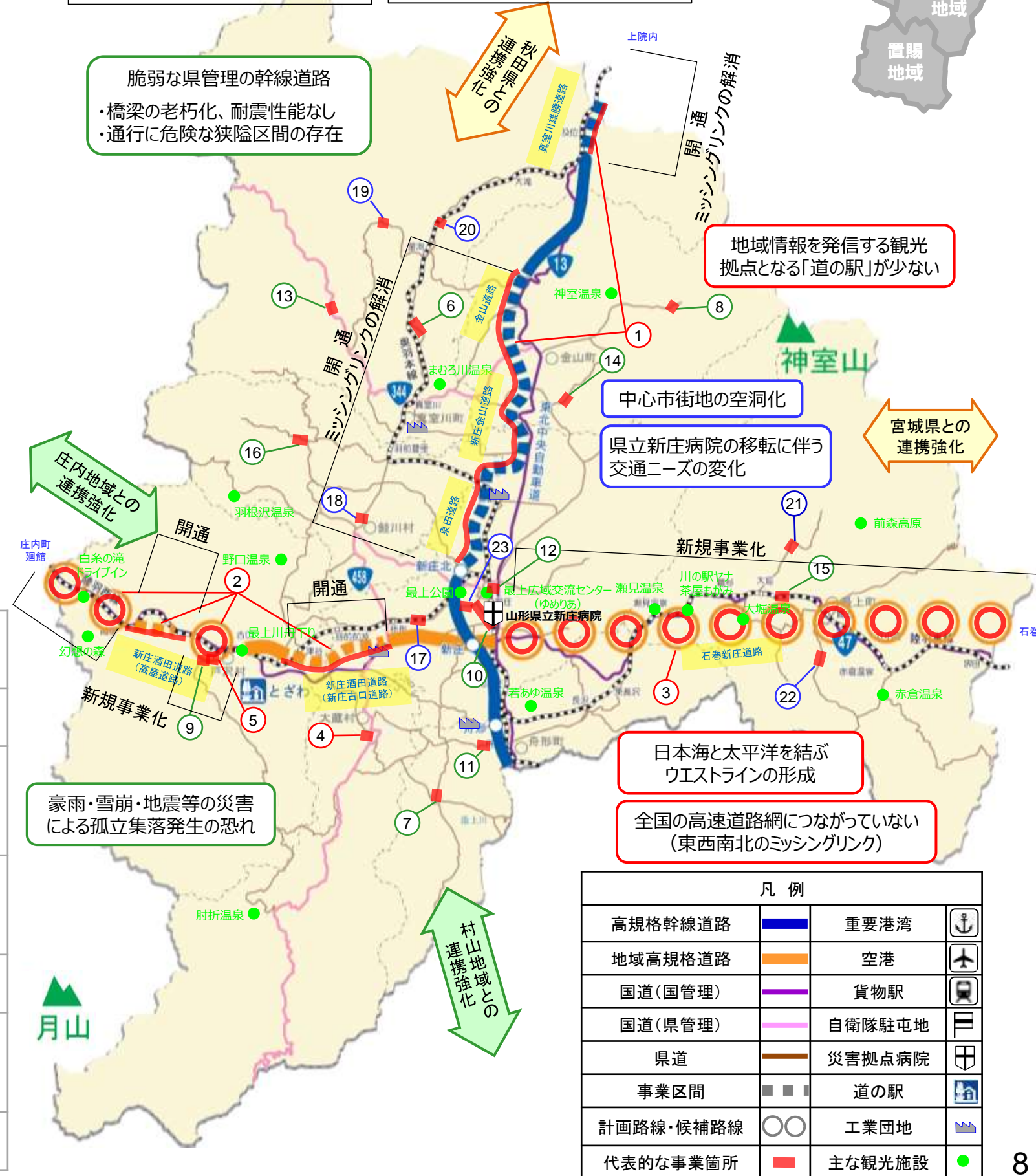
## ■最上地域の道路状況と課題

道路整備に関する課題

- … 施策1,2,3に関する課題
- … 施策4,5,6に関する課題
- … 施策7,8,9に関する課題

事業箇所番号

- … 施策1,2,3の事業箇所
- … 施策4,5,6の事業箇所
- … 施策7,8,9の事業箇所



凡例		
高規格幹線道路	■	重要港湾
地域高規格道路	■	空港
国道(国管理)	■	貨物駅
国道(県管理)	■	自衛隊駐屯地
県道	■	災害拠点病院
事業区間	■	道の駅
計画路線・候補路線	○	工業団地
代表的な事業箇所	■	主な観光施設



## 1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり （活力創造・広域交流促進）

【施策①】 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《高速道路・直轄事業》							
01	（国）13号	泉田道路			○	東北中央自動車道	○
02	（国）13号	新庄金山道路			○	東北中央自動車道	○
03	（国）13号	金山道路			○	東北中央自動車道	○
04	（国）13号	真室川雄勝道路			○	東北中央自動車道	○
05	（国）47号	新庄古口道路（升形～津谷）			○	（地高）新庄酒田道路	○
06	（国）47号	高屋道路			○	（地高）新庄酒田道路	○
07	（国）47号	戸沢村古口～草薙（高屋道路除く）	新規着手に向けた取組促進			（地高）新庄酒田道路	○
08	（国）47号	戸沢村草薙～庄内町狩川	新規着手に向けた取組促進			（地高）新庄酒田道路	○

【施策②】 広域道路ネットワークを活かす追加IC（スマートIC含む）及びICや拠点へのアクセス道路の整備促進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考 （アクセス先）	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
09	（国）458号	大蔵村（本合海バイパス）			○	改築（（地高）新庄酒田道路）	○
10	（主）戸沢大蔵線	戸沢村（古口）	○			改築（（地高）新庄酒田道路）	○

## 2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり （安全・安心・保全・協働）

【施策④】 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時の対応の迅速化

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
11	（主）真室川鮭川線	真室川町（栗谷沢橋）			○	橋梁架替	○
12	（主）新庄次子村山線	舟形町（堀内橋）			○	橋梁架替	○
13	（主）尾花沢最上線ほか	最上町（赤倉橋）ほか62箇所				耐震補強	
14	（主）戸沢大蔵線ほか	戸沢村（古口）ほか10箇所			○	雪崩対策	○
15	（主）大石田畑線ほか	大蔵村（大堰口）ほか2箇所			○	防雪柵	
16	（主）新庄戸沢線	新庄市（金沢）			○	流雪溝	○
17	（主）雄勝金山線ほか	金山町（有屋）ほか9箇所			○	斜面対策	○
18	（主）戸沢大蔵線ほか	戸沢村（角川アンダー）ほか6箇所			○	冠水対策	

【施策⑤】 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組みの推進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《直轄事業》							
19	（国）13号	舟形町（舟形歩道整備）			○	歩道整備	
20	（国）47号	最上町（若宮歩道整備）			○	歩道整備	○
21	（国）47号	戸沢村（古口事故対策）			○	事故対策（線形改良・歩道拡幅）	
《県事業》							
22	（主）舟形大蔵線	舟形町（舟形）			○	歩道整備	○
23	（一）曲川新庄線	新庄市（金沢）		2019		歩道整備	○
24	（国）344号	真室川町（大沢（田郎））	2019			歩道整備	○
25	（一）稲沢下野明線	金山町（安沢）	○			歩道整備	○

【施策⑥】 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
26	（一）曲川新庄線	鮭川村（居口橋）			○	橋梁架替	○
27	（国）458号ほか	新庄市（常葉跨線橋）ほか287橋				橋梁長寿命化（点検診断）	
28	（国）458号ほか	新庄市（常葉跨線橋）ほか287橋				橋梁長寿命化（橋梁補修）	

## 3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり （地域活性化・快適・効率化）

【施策⑦】 生活圏間・都市圏ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
29	（主）真室川鮭川線	鮭川村（佐渡坂）			○	改築	○
30	（主）新庄戸沢線	新庄市（升形（下馬））			○	改築	○
31	（主）真室川鮭川線	真室川町（釜淵）			○	視距改良	○
32	（主）新庄次子村山線	舟形町（長者原）			○	視距改良	
33	（一）砂子沢小又釜淵線	真室川町（小又）			○	改築	○
34	（一）東法田大堰線	最上町（野頭）		2019		改築	○
35	（一）最上小野田線	最上町（下溝沢）	○			改築	○

【施策⑧】 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
36	3・4・4北本町飛田線	新庄市（新町）・（主）新庄戸沢線			○	街路	○

- ・調査着手・事業着手・事業完了の欄には、計画期間内の事業の見通しを記載（高速道路・直轄事業は県の推定）  
（調査着手・事業着手は前期（2019～2023年度）の見通しを記載）
- ・着手・完了の具体的な目途が立った箇所は、それぞれの欄に年度を記載
- ・代表箇所の欄の「○」は、地域ビジョンの「9つの施策の代表的な事業箇所」に掲載した箇所

### 《一覧表に掲載する調査・事業箇所》

- 地域の活性化、地域課題解決のため、今後概ね10年間で整備する事業箇所から主なものを選定
- 対象事業：高速道路事業、国直轄事業、県事業（国庫補助事業、交付金事業、単独事業）

### 「改築系」・・・道路改築、交通安全対策、橋梁架替 ※概算事業費5千万円以上のもの

- ① 事業継続箇所（計画期間内（2019～28年度）での完了）
- ② 計画期間前半に事業に着手する主な箇所（調査※中の箇所）
- ③ 計画期間前半に調査※に着手する見込みの主な箇所  
※みちづくり調査費等による現況調査、図化、概略設計・予備設計等

### 「保全系」・・・防災、雪害、長寿命化（橋梁架替を除く）

- ・工種ごとの地域の代表箇所と箇所数を記載

# 地域のみちづくりビジョン《置賜地域》

観光・産業・文化が息づくまち「置賜」のみちづくり  
～ 首都圏・隣県との連携強化と地域間交流の活性化 ～

## ■置賜地域の概況

- ①気候・地形
  - ・最上川の最上流・源流部にあたり、四方を奥羽山脈や吾妻山地、飯豊山地などの山々に囲まれた盆地形状のため、一日の寒暖の差が大
  - ・全ての市町が特別豪雪地帯に指定
  - ・小国町は、昭和42年に発生した羽越水害等で孤立
- ②生活・文化
  - ・大きく東南置賜と西置賜の2つの地域により構成され、歴史・文化的には米沢（上杉）藩として一体性を有する
  - ・東南置賜の各市町からは米沢市へ、西置賜の各町からは長井市へ通勤・通学する人が多く、荒川上流域に位置する小国町では新潟県との交流が盛ん
  - ・米沢市は国道13号、国道113号、国道121号、JR奥羽本線、JR米坂線が交差する交通の要衝
- ③産業・資源
  - ・東北でも冠たる技術をもつ情報通信関係企業の生産工場、下請け企業が集積し、有機エレクトロニクスの研究拠点となる山形大学が立地するなど力強い産業が根を張る地域
  - ・磐梯朝日国立公園などの優れた自然景観と、イザベラ・バードに「東洋のアルカディア」と称された豊かな田園地域が広がり、数多くの温泉や、伊達氏、上杉氏の史跡や花回廊など多くの観光資源を有する地域
  - ・全国に知られている高いブランド力を持つ米沢牛やブドウ、ラ・フランスなど果樹の産地
  - ・東北中央自動車道が開通し、沿線の八幡原中核工業団地や米沢オフィス・アルカディアなどへ企業立地が進行し、ゲートウェイ機能を持つ道の駅「米沢」を中心に観光客が増加するなど交流人口が拡大

## ■置賜地域の今後10年間のみちづくりの方向性

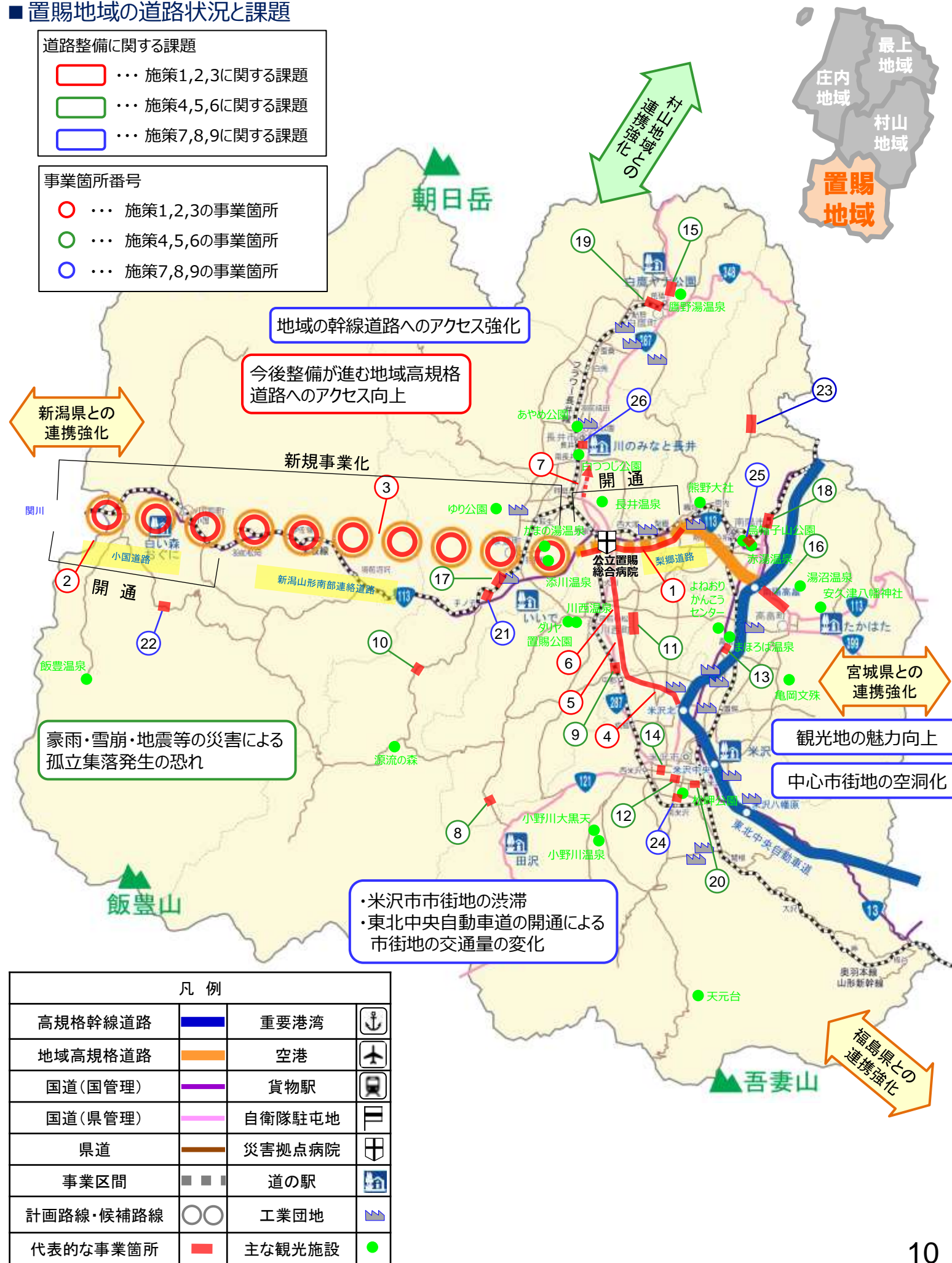
- 1 地域高規格道路（新潟山形南部連絡道路（梨郷道路・小国道路ほか）の整備促進 《**施策1**》
- 2 高速道路交通網の連絡道路の整備促進、地域高規格道路へのアクセス向上 《**施策2**》
- 3 生活圏の生命線である緊急輸送道路等の橋梁架替、長寿命化 《**施策6**》
- 4 地域内の生活道路の交通安全対策等の機能強化 《**施策5**》
- 5 市町のまちづくり等と連携した中心市街地の活性化及び渋滞緩和対策 《**施策8**》
- 6 中山間地域における孤立集落発生の未然防止のための災害や豪雪に強い道路整備 《**施策4,7**》
- 7 生活圏間・都市間ネットワークを形成する幹線道路の機能強化 《**施策7**》
- 8 観光地における良好な景観の創出 《**施策3**》

## ■9つの施策の代表的な事業箇所 凡例：◆継続箇所 ◇計画期間前半の事業着手 ◎計画期間前半の調査着手

<b>施策1</b>	◆① 新潟山形南部連絡道路（梨郷道路） -③ 新潟山形南部連絡道路（小国道路終点～梨郷道路起点など未着手区間） ※新規事業化を促進 など	◇② 新潟山形南部連絡道路（小国道路）
<b>施策2</b>	◆④（国）287号（米沢北バイパス）改築 ◆⑥（国）287号（川西バイパス）改築 ※アクセス先はいずれも（地高）新潟山形南部連絡道路	◆⑤（国）287号（米沢川西バイパス）改築 ◎⑦（国）287号（長井～白鷹）改築
<b>施策4</b>	◆⑧（主）米沢飯豊線（川西町玉庭）斜面对策 ◆⑩（主）米沢飯豊線（飯豊町高峰）雪崩柵 など	◆⑨（国）287号（川西町時田）防雪柵
<b>施策5</b>	◆⑪（一）大塚米沢線（川西町荻）歩道 ◆⑬（一）糠野目亀岡線（高島町糠野目）歩道 ◇⑮（国）287号（白鷹町菖蒲（1））歩道 ◎⑯（国）113号（高島町深沼）歩道・交差点改良 ◆⑱（国）13号（南陽市）登坂車線整備（直轄事業）	◆⑫（主）米沢猪苗代線（米沢市丸の内）交差点改良 ◆⑭（一）西米沢停車場線（米沢市中央）歩道 ◎⑰（主）長井飯豊線（飯豊町小白川）歩道 など
<b>施策6</b>	◆⑲（主）長井白鷹線（白鷹町鮎貝～荒砥）荒砥橋架替 ◎⑳（一）板谷米沢停車場線（米沢市駅前）相生橋架替 など	
<b>施策7</b>	◆㉑（主）長井飯豊線（飯豊町手ノ子）改築 ◇㉓（主）山形南陽線（南陽市板宮）改築	◆㉒（主）玉川沼沢線（小国町百子沢）改築 ◎㉔（一）米沢環状線（米沢市本町）改築 など
<b>施策8</b>	◆㉕（都）赤湯停車場線（南陽市二色根）街路 ◆㉖（都）桐町成田線（長井市本町）街路 など	

## ■置賜地域の道路状況と課題

- 道路整備に関する課題
- … 施策1,2,3に関する課題
  - … 施策4,5,6に関する課題
  - … 施策7,8,9に関する課題
- 事業箇所番号
- … 施策1,2,3の事業箇所
  - … 施策4,5,6の事業箇所
  - … 施策7,8,9の事業箇所



## 1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり （活力創造・広域交流促進）

【施策①】 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《高速道路・直轄事業》							
01	(国) 13号	南陽市（南陽登坂車線整備）			○	交通安全対策（登坂車線整備）	○
02	(国) 113号	梨郷道路			○	(地高)新潟山形南部連絡道路	○
<b>03</b>	<b>(国) 113号</b>	<b>小国道路</b>		<b>2019</b>		(地高)新潟山形南部連絡道路	○
04	(国) 113号	小国道路終点～梨郷道路起点				新規着手に向けた取組促進 (地高)新潟山形南部連絡道路	○

【施策②】 広域道路ネットワークを活かす追加IC（スマートIC含む）及びICや拠点へのアクセス道路の整備促進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考 (アクセス先)	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
05	(国) 287号	米沢市（米沢北バイパス）			○	改築（(地高)新潟山形南部連絡道路）	○
06	(国) 287号	米沢市・川西町（米沢川西バイパス）			○	改築（(地高)新潟山形南部連絡道路）	○
07	(国) 287号	川西町（川西バイパス）			○	改築（(地高)新潟山形南部連絡道路）	○
<b>08</b>	<b>(国) 287号</b>	<b>長井市・白鷹町（長井～白鷹）</b>	○			改築（(地高)新潟山形南部連絡道路）	○

【施策③】 高速道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

No.	路線名等	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
09	(国) 121号	米沢市（道の駅「田沢」）			○	停電対策	

## 2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり （安全・安心・保全・協働）

【施策④】 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時の対応の迅速化

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
10	(主) 川西小国線ほか	川西町（諏訪橋）ほか144箇所				耐震補強	
11	(主) 米沢飯豊線ほか	飯豊町（高峰）ほか4箇所			○	雪崩対策	○
12	(国) 287号	川西町（時田）			○	防雪柵	○
13	(主) 米沢飯豊線ほか	川西町（玉庭）ほか47箇所			○	斜面対策	○
14	(一) 赤湯宮内線	南陽市（桧原アンダー）			○	冠水対策	

【施策⑤】 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組みの推進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《直轄事業》							
再掲	(国) 13号	南陽市（南陽登坂車線整備）			○	登坂車線整備	○
15	(国) 113号	小国町（小国歩道整備）			○	歩道整備	
16	(国) 113号	飯豊町（飯豊歩道整備）			○	歩道整備	
17	(国) 113号	南陽市（南陽歩道整備）			○	歩道整備	
《県事業》							
18	(主) 米沢猪苗代線	米沢市（丸の内）			○	交差点改良	○
19	(一) 糠野目亀岡線	高島町（糠野目）			○	歩道整備	○
20	(一) 大塚米沢線	川西町（苜）			○	歩道整備	○
21	(一) 梨郷赤湯停車場線	南陽市（竹原）			○	歩道整備	
22	(主) 高島川西線	川西町（小松）			○	幅広路肩	
23	(一) 西米沢停車場線	米沢市（中央）			○	歩道整備	○
24	(主) 米沢南陽白鷹線	川西町（尾長島）			○	幅広路肩	
25	(一) 口田沢川西線	川西町（上奥田）			○	幅広路肩	
26	(一) 椿長井線	飯豊町（黒沢）			2019	歩道整備	
<b>27</b>	<b>(国) 287号</b>	<b>白鷹町（菅蒲（1））</b>		○		歩道整備	○
<b>28</b>	<b>(国) 113号</b>	<b>高島町（深沼）</b>	<b>2019</b>			歩道整備・交差点改良	○
<b>29</b>	<b>(主) 長井飯豊線</b>	<b>飯豊町（小白川）</b>	<b>2019</b>			歩道整備	○

【施策⑥】 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
30	(主) 長井白鷹線	白鷹町（荒砥橋）			○	橋梁架替	○
<b>31</b>	<b>(一) 板谷米沢停車場線</b>	<b>米沢市（相生橋）</b>	○			橋梁架替	○
32	(国) 287号ほか	長井市（長井橋）ほか637箇所				橋梁長寿命化（点検診断）	
33	(国) 287号ほか	長井市（長井橋）ほか637箇所				橋梁長寿命化（橋梁補修）	
34	(国) 348号ほか	白鷹町（白鷹トンネル）ほか				トンネル長寿命化	

## 3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり （地域活性化・快適・効率化）

【施策⑦】 生活圏間・都市圏ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
35	(一) 大塚米沢線	川西町（大塚）			○	改築	
36	(国) 287号	白鷹町（大瀬）			○	改築	
37	(主) 長井飯豊線	飯豊町（手ノ子）			○	改築	○
38	(主) 玉川沼沢線	小国町（百子沢）			○	改築	○
<b>39</b>	<b>(主) 山形南陽線</b>	<b>南陽市（板宮）</b>		○		改築	○
<b>40</b>	<b>(一) 米沢環状線</b>	<b>米沢市（本町）</b>	○			改築	○

【施策⑧】 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

No.	路線名	箇所名（工区名）	前期（2019～2023）		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
《県事業》							
41	3・4・5赤湯停車場線	南陽市（二色根）・（一）赤湯停車場線			○	街路	○
42	3・4・10桐町成田線	長井市（本町）・（主）長井大江線			○	街路	○

- ・ 調査着手・事業着手・事業完了の欄には、計画期間内の事業の見通しを記載（高速道路・直轄事業は県の推定）  
（調査着手・事業着手は前期（2019～2023年度）の見通しを記載）
- ・ 着手・完了の具体的な目途が立った箇所は、それぞれの欄に年度を記載
- ・ 代表箇所の欄の「○」は、地域ビジョンの「9つの施策の代表的な事業箇所」に掲載した箇所

《一覧表に掲載する調査・事業箇所》

- 地域の活性化、地域課題解決のため、今後概ね10年間で整備する事業箇所から主なものを選定
- 対象事業：高速道路事業、国直轄事業、県事業（国庫補助事業、交付金事業、単独事業）

「改築系」・・・道路改築、交通安全対策、橋梁架替 ※概算事業費5千万円以上のもの

- ① 事業継続箇所（計画期間内（2019～28年度）での完了）
- ② 計画期間前半に事業に着手する主な箇所（調査※中の箇所）
- ③ 計画期間前半に調査※に着手する見込みの主な箇所  
※みちづくり調査費等による現況調査、図化、概略設計・予備設計等

「保全系」・・・防災、雪害、長寿命化（橋梁架替を除く）

- ・ 工種ごとの地域の代表箇所と箇所数を記載

# 地域のみちづくりビジョン《庄内地域》

## 自然・文化・歴史をまもり地域産業をいかす「庄内」のみちづくり ～ 日本海沿岸地域と太平洋側を結ぶネットワークの形成 ～

### ■ 庄内地域の概況

- ① 気候・地形
  - ・内陸部に比べ温暖で雪は少ないが、年間を通じて風が強く、冬場は、北西からの季節風による地吹雪が発生
  - ・日本海に面する沿岸部、最上川や赤川等が流れる平野部、月山・鳥海山等を頂とする中山間部の3種の地形からなる
- ② 生活・文化
  - ・鶴岡・酒田の人口規模県内2位・3位の大きな都市が、それぞれの生活圏を形成
  - ・北前船、最上川舟運、山岳信仰等により形成された独自の文化圏であり、古から内陸との連携や、隣県（秋田県、新潟県）との交流・連携が盛ん
- ③ 産業・資源
  - ・国際的に評価の高い観光資源（日本遺産の「出羽三山」「北前船寄港地」「サムライゆかりのシルク」、ユネスコ無形文化財「あまはげ」、ユネスコ食文化創造都市等）を活用して、庄内地域を中心に、秋田県から新潟県までの複数の観光地が連携した滞在型観光を目指し、国際競争力の高い魅力ある観光地づくりを推進
  - ・酒田港におけるコンテナ貨物取扱量の増加、外航クルーズ船の寄港による観光ニーズの増大
  - ・リサイクルポートに関連した環境関連産業が集積、近年は庄内空港を利用する電子部品・デバイス産業が躍進
  - ・山形大学農学部、東北公益文科大学、慶応義塾大学先端生命科学研究所等の充実した高度教育・研究機関を軸に地域活性化を推進
  - ・全国有数の米どころであるとともに、岩ガキや、だだちゃ豆・庄内豚等の海・農・畜産物も豊富

### ■ 庄内地域の今後10年間のみちづくりの方向性

- 1 日本海沿岸東北自動車道の整備促進・ミッシングリンクの解消に合わせた他地域との連携強化 《**施策1**》
- 2 山形自動車道及び地域高規格道路（新庄酒田道路）の未整備区間の新規事業化 《**施策1**》
- 3 地域の生命線である最上川等に架かる長大橋等の更新・長寿命化 《**施策4,6**》
- 4 高速道路から酒田港等の拠点施設や観光地へのアクセス向上、リダンダンシー機能の確保 《**施策2,4,7**》
- 5 地吹雪対策などによる冬期間の交通安全の確保 《**施策4**》
- 6 地域内の幹線道路の整備や生活道路等の交通安全対策など環境改善 《**施策5,7,8**》
- 7 市町のまちづくり事業等と連携した都市内道路ネットワークの整備推進 《**施策8**》
- 8 最上地域とを結ぶ交流基盤の強化 《**施策4**》
- 9 ゲートウェイ機能を持つ「道の駅」等への支援 《**施策3**》
- 10 災害や豪雪に強い道路整備による中山間地域における孤立集落発生への未然防止 《**施策4**》

### ■ 9つの施策の代表的な事業箇所 凡例：◆継続箇所 ◇計画期間前半の事業着手 ◎計画期間前半の調査着手

<b>施策1</b>	◆① 日本海沿岸東北自動車道（新潟県境～あつみ温泉IC） ◆② 日本海沿岸東北自動車道（酒田みなとIC～秋田県境） -③ 東北横断自動車道酒田線（山形自動車道 月山IC～湯殿山IC） ※新規事業化を促進 -④ 新庄酒田道路（戸沢村古口～庄内町廻館間） ※新規事業化を促進（事業中の高屋道路を除く）
<b>施策2</b>	◆⑤（主）余目温海線（鶴岡市温海）改築＜日沿道 温海IC＞ ※＜アクセス先＞ ◎⑥（国）345号（鶴岡市鼠ヶ関）改築＜日沿道 鼠ヶ関IC＞ など
<b>施策4</b>	◆⑦（一）余目松山線（庄内町堤興屋～酒田市竹田）庄内橋架替 ◇⑧（国）112号（鶴岡市金沢）金沢陸橋架替 ◎⑨（主）藤島由良線（鶴岡市文下～三川町横山）蛾眉橋架替 ◎⑩（一）梳代鶴岡線（鶴岡市末広町）鶴岡跨線橋架替 ◆⑪（一）藤島羽黒線（鶴岡市羽黒町戸野）防雪柵 ◆⑫（国）344号（酒田市北青沢）雪崩対策 など
<b>施策5</b>	◆⑬（主）余目加茂線（三川町神花）幅広路肩 ◆⑭（一）円能寺砂越停車場線（酒田市中野俣）歩道 ◆⑮（国）7号（鶴岡市覚岸寺）交差点改良（直轄事業） など
<b>施策6</b>	◆⑯（国）345号（鶴岡市大宝寺）西三川橋 補修 ◇⑰（国）112号（酒田市山居町）実生橋架替 など
<b>施策7</b>	◆⑱（主）鶴岡羽黒線（鶴岡市手向）羽黒山（2）改築 ◆⑲（国）344号（酒田市安田）安田バイパス ◆⑳（一）浜中余目線（酒田市広野）改築 ◇㉑（国）345号（鶴岡市平沢（1））改築 ◇㉒（主）菅野代荻野沢線（鶴岡市山五十川（1））改築 など
<b>施策8</b>	◆㉓（都）道形黄金線（鶴岡市馬場町）街路 ◆㉔（都）豊里十里塚線（酒田市山居町～上本町）街路 ◎㉕（都）本町東大町線（酒田市本町（1））街路 など

### ■ 庄内地域の道路状況と課題



## 1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり (活力創造・広域交流促進)

【施策①】 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

No.	路線名	箇所名(工区名)	前期(2019~2023)		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
<b>《高速道路・直轄事業》</b>							
01	東北横断自動車道酒田線	月山～湯殿山	新規着手に向けた取組促進				○
02	日本海沿岸東北自動車道	酒田みなと～遊佐			○		○
03	(国)7号	朝日温海道路			○	日本海沿岸東北自動車道	○
04	(国)7号	遊佐象潟道路			○	日本海沿岸東北自動車道	○
05	(国)47号	戸沢村草薙～庄内町狩川	新規着手に向けた取組促進			(地高)新庄酒田道路	○
06	(国)47号	庄内町狩川～廻館	新規着手に向けた取組促進			(地高)新庄酒田道路	○
07	(国)47号	事前通行規制区間等のぜい弱箇所	機能強化に向けた取組促進			防災対策	

【施策②】 広域道路ネットワークを活かす追加IC（スマートIC含む）及びICや拠点へのアクセス道路の整備促進

No.	路線名	箇所名(工区名)	前期(2019~2023)		計画期間内 事業完了	備考 (アクセス先)	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
<b>《県事業》</b>							
08	(主) 余目温海線	鶴岡市(温海)			○	歩道整備(日沿道 あつみ温泉IC)	○
09	(国)345号	鶴岡市(鼠ヶ関)	○			改築(日沿道(仮称)鼠ヶ関IC)	○

## 2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり (安全・安心・保全・協働)

【施策④】 防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時の対応の迅速化

No.	路線名	箇所名(工区名)	前期(2019~2023)		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
<b>《県事業》</b>							
10	(一) 余目松山線	庄内町(庄内橋)			○	橋梁架替	○
11	(国)112号	鶴岡市(金沢陸橋)		○		橋梁架替又は撤去	○
12	(主) 藤島由良線	三川町(蛾眉橋)	○			橋梁架替	○
13	(一) 橋代鶴岡線	鶴岡市(鶴岡跨線橋)	○			橋梁架替	○
14	(一) 面野山鶴岡線ほか	鶴岡市(錦町陸橋)ほか139橋				耐震補強	
15	(国)344号ほか	酒田市(北青沢)ほか1箇所			○	雪崩対策	○
16	(一) 藤島羽黒線ほか	鶴岡市(戸野・町屋)ほか40箇所			○	防雪柵	○
17	(国)112号ほか	鶴岡市(田麦俣)ほか40箇所			○	斜面対策	
18	(主) 藤島由良線ほか	鶴岡市(油戸)ほか2箇所			○	越波対策	
19	(一) 余目松山線	庄内町(ひまわりロード)			○	冠水対策	

【施策⑤】 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組みの推進

No.	路線名	箇所名(工区名)	前期(2019~2023)		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
<b>《直轄事業》</b>							
20	(国)7号	鶴岡市(覚岸寺交差点改良)			○	交差点改良	○
21	(国)7号	酒田市(亀ヶ崎交差点改良)			○	交差点改良	
22	(国)7号	酒田市(興野地区事故対策)			○	事故対策(歩道・付加車線整備)	
23	(国)7号	酒田市(広野地区事故対策)			○	事故対策(歩道拡幅・右折車線整備)	
24	(国)47号	庄内町(狩川矢倉交差点改良)			○	交差点改良	
25	(国)112号	鶴岡市(朝陽町地区事故対策)			○	事故対策(付加車線・自歩道整備)	
<b>《県事業》</b>							
再掲	(主) 余目温海線	鶴岡市(温海)			○	歩道整備	○
26	(一) 円能寺砂越停車場線	酒田市(山谷)			○	歩道整備	
27	(一) 円能寺砂越停車場線	酒田市(中野俣)			○	幅広路肩	○
28	(主) 余目加茂線	三川町(神花)			○	幅広路肩	○

【施策⑥】 予防保全型維持管理などによる計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

No.	路線名	箇所名(工区名)	前期(2019~2023)		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
<b>《県事業》</b>							
29	(国)112号	酒田市(実生橋)		○		橋梁架替	○
30	(国)345号ほか	鶴岡市(西三川橋)ほか759橋				橋梁長寿命化(点検診断)	
31	(国)345号ほか	鶴岡市(西三川橋)ほか759橋				橋梁長寿命化(橋梁補修)	○
32	(一) 面野山鶴岡線ほか	鶴岡市(白山横断歩道橋)ほか				その他施設長寿命化	

## 3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり (地域活性化・快適・効率化)

【施策⑦】 生活圏・都市圏ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

No.	路線名	箇所名(工区名)	前期(2019~2023)		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
<b>《県事業》</b>							
33	(主) 鶴岡羽黒線	鶴岡市(羽黒山(2))			○	改築	○
34	(国)344号	酒田市(安田バイパス)			○	改築	○
35	(一) 田沢下新田線	酒田市(山元(2))			○	改築	
36	(一) 浜中余目線	酒田市(広野)			○	改築	○
37	(一) 鶴岡村上線	鶴岡市(砂川)			○	視距改良	
38	(国)345号	鶴岡市(一本木)			○	改築	
39	(国)345号	鶴岡市(平沢(1))		○		改築	○
40	(主) 菅野代堅吾沢線	鶴岡市(山五十川(1))		2019		改築	○

【施策⑧】 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

No.	路線名	箇所名(工区名)	前期(2019~2023)		計画期間内 事業完了	備考	代表 箇所
			調査着手	事業着手			
<b>《県事業》</b>							
41	3・2・2豊里十里塚線	酒田市(山居町～上本町)・(一)吹浦酒田線			○	街路	○
42	3・5・31藤島駅笹花線	鶴岡市(藤島)・(一)添津藤島停車場線			○	街路	
43	3・4・3羽黒橋加茂線	鶴岡市(神明町)・(主)鶴岡羽黒線			2019	街路	
44	3・6・1道形黄金線	鶴岡市(馬場町(1))・(一)鶴岡村上線			○	街路	○
45	3・3・4本町東大町線	酒田市(本町(1))・(主)酒田松山線		2019		街路	○

- ・調査着手・事業着手・事業完了の欄には、計画期間内の事業の見通しを記載（高速道路・直轄事業は県の推定）  
（調査着手・事業着手は前期（2019～2023年度）の見通しを記載）
- ・着手・完了の具体的な目途が立った箇所は、それぞれの欄に年度を記載
- ・代表箇所の欄の「○」は、地域ビジョンの「9つの施策の代表的な事業箇所」に掲載した箇所

### 《一覧表に掲載する調査・事業箇所》

- 地域の活性化、地域課題解決のため、今後概ね10年間で整備する事業箇所から主なものを選定
- 対象事業：高速道路事業、国直轄事業、県事業（国庫補助事業、交付金事業、単独事業）

### 「改築系」・・・道路改築、交通安全対策、橋梁架替 ※概算事業費5千万円以上のもの

- ① 事業継続箇所（計画期間内（2019～28年度）での完了）
- ② 計画期間前半に事業に着手する主な箇所（調査※中の箇所）
- ③ 計画期間前半に調査※に着手する見込みの主な箇所  
※みちづくり調査費等による現況調査、図化、概略設計・予備設計等

### 「保全系」・・・防災、雪寒、長寿命化（橋梁架替を除く）

- ・工種ごとの地域の代表箇所と箇所数を記載